

各 位

2022年8月17日
株式会社天夢人

特急「踊り子」から惜しまれつつ引退した記憶も新しい
首都圏最後の国鉄時代に製造された特急形電車、185系を詳しく解説
旅鉄車両ファイル 004「国鉄185系特急形電車」を発売

インプレスグループで鉄道・旅・歴史メディア事業を展開する株式会社天夢人(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:勝峰富雄)は、2022年8月18日に、『国鉄185系特急形電車』を刊行いたします。



185系特急形電車は、日本国有鉄道(国鉄)が1981年に投入した特急形電車です。国鉄分割民営化では全車両がJR東日本に承継され、東海道本線の特急「踊り子」や高崎線系統の「新特急草津」「新特急あかぎ」などで活躍をしました。2021年3月ダイヤ改正で「踊り子」から引退しましたが、首都圏で最後の国鉄が製造した特急形電車ということで、大変注目を集めました。また、今年は東北・上越新幹線が開業して40周年ですが、その際に上野～大宮間で「新幹線リレー号」として走ったのが185系200番代で、6月にはイベント列車として走り注目を集めました。

本書は、『旅と鉄道』の増刊号「ありがとう185系」を元に、鉄道車両を形式ごとに詳しく掘り下げる「旅鉄車両ファイル」シリーズとして再編集しました。東日本旅客鉄道株式会社の協力で車両基地で徹底取材を行った185系200番代OM09編成の詳細取材は、写真をより拡大して掲載しています。このほか、形式解説、使用列車の解説、185系と切っても切れない関係にある特急「踊り子」の歴史など、「ありがとう185系」では掲載しきれなかった資料や写真を追加して、見応えのある内容をお届けいたします。

■ 誌面サンプル



「185系特急形直流電車のプロフィール」では開発の経緯や技術などを、写真や表、図面資料を用いて詳しく解説しています。



「185系の形式」では、個々の形式について登場時から後年まで、さまざまな年代の形式写真を掲載し、時代や配置による違いを紹介しています。



「185系200番代OM09編成のすべて」では、JR東日本の協力を得て取材を行い、OM09編成を外観から車内、床下機器に至るまで、写真でくまなくお見せします。



「185系の運用と塗色の変遷」では登場から引退まで、車両基地ごとの動向を、豊富な写真と合わせて掲載しています。



185系と切っても切れない関係にある特急「踊り子」の歴史を掲載。戦後間もなく運転を開始した週末準急から最新の「サフィール踊り子」まで、東京と伊豆を結ぶ優等列車を写真や編成図、時刻を交えて解説します。

■もくじ

第1章 185系の概要

185系特急形直流電車のプロフィール

185系の形式 モハ185形／モハ184形／クハ185形／サロ185形／サハ185形

185系の方向幕 1 田町電車区／2 新前橋電車区(急行時代)／3 新前橋電車区(特急時代)／4 新前橋電車区(新特急時代)

COLUMN お召列車に使用された185系

第2章 185系のディテール

185系200番代OM09編成のすべて

クハ185-215／モハ184-230／モハ185-230／サロ185-215／モハ184-229／モハ185-229
 ／クハ185-315／EF63形と連結する装備／運転室／普通車／グリーン車／客室設備／車掌室／トレインマーク／行先表示器／床下機器／屋上機器／台車

第3章 185系の列車史

185系の運用と塗色の変遷

国鉄時代田町と新前橋に新製配置／JR 東日本田町電車区配置車／JR 東日本新前橋電車区配置車／JR 東日本大宮車両センター配置車

第4章 特急「踊り子」ヒストリー

特急「踊り子」前史 1 週末準急から始まった伊豆アクセス／特急「踊り子」前史 2 複数の愛称名を集約、準急から特急の時代へ／特急「踊り子」の愛称名で185系が本格稼働

【書誌情報】

書名:国鉄185系特急形電車
仕様:B5判 144ページ
定価:本体2750円(税込)
発売日:2022年8月18日

全国書店、オンライン書店のAmazonなどで発売中。
<https://amzn.to/3NuWHgT>

【株式会社天夢人】 <https://www.temjin-g.co.jp/>
2007年設立。隔月刊雑誌『旅と鉄道(奇数月21日発売)』をはじめとする、鉄道・旅・歴史・民俗・カルチャーをテーマとした雑誌や書籍を発行し、人生を豊かにするための情報を発信しています。

【インプレスグループ】 <https://www.impressholdings.com/>
株式会社インプレスホールディングス(本社:東京都千代田区、代表取締役:松本大輔、証券コード:東証スタンダード市場9479)を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「航空・鉄道」「モバイルサービス」「学術・理工学」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

以上

【本件に関するお問合せ先】

株式会社天夢人 担当:林
Tel: 03-6837-4680 / E-mail: info@temjin-g.co.jp
URL: <https://www.temjin-g.co.jp/>